

# サステナビリティ経営

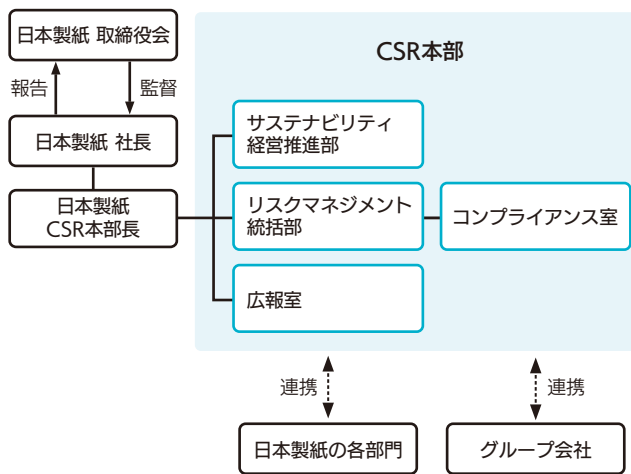
## 1 基本的な方針

日本製紙は、2004年に国連グローバル・コンパクトに署名・参加しました。国連グローバル・コンパクトが定める4分野（人権、労働、環境、腐敗防止）の10原則に基づき、企業グループ理念の実現とともに、社会・環境の持続可能性と企業の将来にわたる成長の両立を追求するサステナビリティ経営を推進しています。

当社が加入している日本製紙連合会では、会員企業の議論のもと、2023年に「日本製紙連合会サステナビリティ基本原則」を制定しました。当社も当原則に従い、事業を通じた社会的責任を果たしていきます。

 [日本製紙連合会サステナビリティ基本原則](https://www.jpa.gr.jp/about/sustainability/principle/)  
https://www.jpa.gr.jp/about/sustainability/principle/

## 2 推進体制



- 当社社長直轄の組織としてCSR本部を設置し、サステナビリティ経営推進部、リスクマネジメント統括部とコンプライアンス室、広報室がESG課題への対応、リスクマネジメントの推進、適切な情報開示に取り組む体制を構築しています。
- CSR本部は、サステナビリティに関する活動について取締役会に報告しており、2022年度は人権尊重に関する活動などについて計4回取締役会に報告しました。
- 当社は、2011年から年1回、国内外のグループ会社を対象に、環境・人権・コンプライアンスなどについて各社の対応状況を確認するCSR調査を実施しています。

## 3 従業員等への教育・啓発

### サステナビリティに関する教育・啓発の実績（2022年度）

	受講対象者	受講人数	開催回数(頻度)
e-ラーニング	日本製紙グループ従業員	4,955人 <sup>*1</sup>	1回(年1回)
サステナビリティ研修	日本製紙グループ新入社員	89人	1回(年1回)
	日本製紙新任管理職	74人	1回(年1回)
サステナビリティ講演会	日本製紙グループ従業員・取引先	642人	1回(年1回)
森と紙のなかよし学校 <a href="#">→P68</a>	小学生とその保護者	35人 <sup>*2</sup>	1回(年1回)

※1 日本製紙のみで集計 ※2 小学生の人数

### 事例

#### e-ラーニングの実施(日本製紙)

当社は、当社グループ従業員を対象に、サステナビリティに関する研修を定期的に開催しています。2022年度は「サステナビリティの基礎知識」というテーマで、社会課題の現状や企業に期待されていることなどについて解説しました。受講後のアンケートで、理解度や意識、意見を確認し、次年度の研修に活かしています。

#### サステナビリティ講演会の開催(日本製紙)

当社は、サステナビリティの観点からテーマを選定の上、取引先や当社グループ従業員を対象に、外部専門家による講演会を定期的に開催しています。2022年度は、当社社有林にてシマフクロウ保護の活動を行っている公益財団法人日本野鳥の会を招き、「生物多様性の保全と企業活動」というテーマで講演会を開催しました。

#### 社内報によるサステナビリティ情報の発信(日本製紙)

当社は、当社グループ従業員向けに年4回発行する社内報の中で、サステナビリティに関する情報を発信しています。2022年度は、当社グループのサステナビリティに関する取り組みなどについて掲載しました。